

アーチェリー競技プログラム

期日／平成26年8月23日(土)～24日(日) 場所／石川県湖南運動公園アーチェリー場

東日本大震災復興支援

HOKUSHIN ETSU KOKUMIN TAIKU TAIKAI 2014

第35回
北信越国民体育大会
2014 8.22 FRI - 24 SUN

瞬刻の躍動、そして栄光の煌きへ。



主催／(公財)日本体育協会・石川県・富山県・長野県・福井県・新潟県・石川県教育委員会
富山県教育委員会・長野県教育委員会・福井県教育委員会・新潟県教育委員会
(公財)石川県体育協会・(公財)富山県体育協会
(公財)長野県体育協会・(公財)福井県体育協会・(公財)新潟県体育協会
共催／会場地市町・会場地市町教育委員会
後援／文部科学省
主管／(公財)石川県体育協会・石川県各競技団体



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

<http://ringring-keirin.jp>



開催の趣旨

国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

日本体育協会スポーツ憲章

「スポーツ精神」とは、自らスポーツを行うことに意義と価値をもち、スポーツの競技規則、スポーツマンシップやフェアプレーに代表されるマナー、エチケットなどのスポーツ規範に基づき、生涯を通じて自己の能力・適正等に応じて、主体的・継続的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことを意味するものとする。

(公益財団法人日本体育協会スポーツ憲章より抜粋)

目 次

若い力	1	式典次第・諸会議日程	8
石川県民の歌	1	競技日程	9
あいさつ	2	競技上の規定及び試合方法	9
祝辞	3	立順・競技成績表	10
あいさつ	4	監督・選手名簿	14
歓迎のことば	5	アーチェリー競技の見方	16
競技会役員	6	前回までの成績	17
競技役員	7	競技会場案内図	18
		宿舍・大会本部等	19

若い力

(財)日本体育協会選定

佐伯 孝夫 作詞
高田 信一 作曲

一、若い力と感激に

燃えよ若人 胸を張れ

歓喜あふれる ユニフォーム

肩にひとひら 花が散る

花も輝け 希望にみちて

競え青春 強き者

二、薫る英気と 純情に

瞳あかるい スポーツマン

僕のよろこび 君のもの

挙る凱歌に 虹が立つ

友情身にしむ 熱こそいのち

競え青春 強き者

石川県民の歌

梅木 宗一 作詞
窪田 新一 作曲

一、白山に 朝日ははえて

青雲の はれゆくところ

名にかおる 歴史をつぎて

むすばれし われら県民

躍進の 旗をかざして

おおわが石川 ふるいおこさん

二、加賀平野 能登半島に

海山の さち呼ぶところ

うちつどう ちまたの野辺に

工芸の 花咲きにおい

はるかなる 稲田はみのもる

おおわが石川 ひらきのばさん

三、日本海 北にひらけて

希望の日 明けゆくところ

いでゆわき 地はゆたかなり

この国土 いよよ栄えて

人の和に 世界を結ぶ

おおわが石川 歌いたたえん

あいさつ



第35回北信越国民体育大会会長
公益財団法人石川県体育協会会長

石川県知事 谷本正憲

第35回北信越国民体育大会が、北信越各県の選手・監督・役員の皆様をお迎えし、ここ石川の地において盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。また、ご来県いただきました皆様に心から歓迎申し上げます。

本大会は、北信越地区最大のスポーツの祭典であり、各県を代表する精鋭が、今秋長崎で開催される第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体2014」への出場をめざし、郷土の名誉と誇りを胸に、熱戦を繰り広げる場であります。

2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定し、スポーツに対する国民の興味・関心が益々高まる中、本大会の開催は、北信越地区の競技力向上をはじめとしたスポーツ振興に大きく寄与するものと確信しております。

参加される選手の皆様には、日ごろ鍛えた力と技を存分に発揮され、観戦される方々に感動を与えるような白熱した戦いを展開されるとともに、スポーツを通して交流の輪を広げられ、思い出に残る素晴らしい大会となることを願っております。

また、県外からお越しいただいた皆様には、折角の機会でありますので、加賀百万石の歴史や伝統文化、「能登の里山里海」をはじめとする豊かな自然や新鮮な海・山の幸など、本県の多彩な魅力もご堪能いただければ幸いです。

最後に、本大会の開催にあたりご尽力いただきました会場地の市町をはじめ、関係の皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と本大会の成功を祈念いたしまして、あいさつといたします。

祝 辞



石川県議会議長 吉崎吉規

北信越5県から多くの選手・役員の皆様をお迎えし、第35回北信越国民体育大会が盛大に開催されるに当たり、石川県議会を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

本大会は、長崎県で開催される「長崎がんばらんば国体」への予選会として、また、北信越地域のスポーツの振興と発展に大きく寄与する大会であり、スポーツを通して、競技する方だけでなく、観戦する方や応援する方、全ての人々に夢と感動を与えてくれるものと大いに期待しております。

本県では、魅力あるスポーツ・文化づくりの推進を目指しており、平成3年に「石川国体」、平成12年に「全国スポレク祭」、平成22年に「ねんりんピック」、平成23年には「日本スポーツマスターズ」を開催し、県民の各年齢層においてスポーツに対する関心や活動が大きな高まりを見せております。

また、来春には、いよいよ北陸新幹線が開業します。これにあわせて、「日本スポーツマスターズ2015」の開催も予定されており、バレーボール、バスケットボールなど13競技に全国から多くのスポーツ愛好家が集い、石川の地で熱戦を繰り広げるとともに交流を深めることとなっております。

日々の厳しい練習とたゆまぬ努力により、各県の予選を勝ち抜かれた選手の皆様には、これまで鍛えた力と技を十分に発揮され、輝かしい成績を収められますとともに選手相互の友情を深め、心に残る素晴らしい大会となることを心から願っております。

終わりに、本大会の運営に当たられます役員の方々をはじめ、関係各位のご労苦に深く敬意と感謝の意を表しますとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

あいさつ



石川県アーチェリー協会 会長 持 木 一 茂

ここ石川県金沢市の湖南運動公園アーチェリー場で第35回北信越国民体育大会アーチェリー競技会が開催されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今大会で、我々のアーチェリー競技が国体の種目となり35年目を迎える訳であり、これまでに北信越のアーチェリー競技の普及発展に本大会の果たした役割に思いを致すと、大変感慨深いものがあります。

現在まで、数多くの名選手を輩出してきた伝統ある大会であり、今回も多数の一流選手、また一流を目指す選手たちが集うことは、北信越アーチェリー界の層の厚さを感じさせ、まことに頼もしく思います。

いよいよ、長崎国体の代表権をかけた戦いが始まります。日頃の精進が実り、各県の代表として本大会に出場された選手諸君には、鍛えた力と技を遺憾なく発揮されるとともに、郷土の熱い期待に応え、国体出場権獲得という栄光に向けて頑張ってください。

そして、国体では北信越の代表としての自覚を胸に、活躍されることを期待いたします。

終わりにになりましたが、本大会開催にあたりご尽力いただいた地元石川県アーチェリー協会を始め、関係諸団体の皆様に心よりの感謝を申し上げて開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば



金沢市長 山野之義

ここ金沢において、第35回北信越国民体育大会が開催されますことは、開催市といたしまして大変嬉しく、役員、監督、選手の皆様を心から歓迎申し上げます。

皆様には、日頃からスポーツの振興に多大なご尽力をいただくとともに、スポーツを通して元気なまちづくりに貢献されておられますことに対し、深く感謝申し上げます。

北信越の各県を代表して参加される選手の皆さんには、日頃の練習などで鍛えられた技を遺憾なく発揮し、秋に行われます第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」への切符を射止められますよう、心から健闘をお祈りいたします。

金沢は、加賀百万石の城下町として栄え、風情あるまちなみと伝統文化が残る「歴史都市」であります。

折角お越しいただいた機会でもありますので、金沢のまちを散策され、自然や歴史に加え、金沢21世紀美術館に代表される新たな文化を創造している金沢の魅力も存分に満喫していただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催にあたりご尽力をいただきました関係者の皆様に、心から敬意を表しますとともに、大会のご成功を祈念申し上げます。歓迎のことばといたします。

競 技 会 役 員

名誉会長	山野 之義			
会長	持木 一茂			
副会長	大野 久芳	古田 芙士	松井 拓夫	広井 忠雄
顧問	田中 展郎	田邊 俊治	野口 弘	米沢 寛
	井沢 義武	吉本 慎太郎	高 雅彦	桜井 廣明
	福池 正人	深見 繁	中西 重信	泉川 宜義
	鈴木 信一			
参与	尾崎 敬志	金浦 修郎	山下 一夫	
委員長	山崎 雅晃			
副委員長	作間 祥一	上田 哲治	中島 明弘	内田 秀夫
	木戸 邦彦			
委員	山本 清治	中島 功二	七澤 信	菅原 正幸
	山本 健一郎	長 好晴	佐野 浩	林 秀明
	澤田 亜希夫	上野 良幸	町谷 真澄	小島 雄貴
	大和 裕也	近藤 柱	山首 一恵	

競 技 役 員

競技委員長	山崎 雅晃			
副競技委員長	泉川 宣義			
DOS	中西 重信			
副DOS	鈴木 信一			
審判長	林 秀明			
審判員	上野 良幸	渡辺 亮	小島 雄貴	大和 裕也
	中村 匡孝	諸田 靖和		
放送・計時係	町谷 真澄			
総務係	澤田 亜希夫			
記録長	作間 祥一			
記録員	佐野 浩	松村 秀逸	川北 真舞	
射場係	近藤 柱	藤田 和彦	天 雅彦	笹島 貴光
	横地 廣光	村田 隆幸	中島 秀明	
記録補助員	金沢向陽高校アーチェリー一部員	能登高校アーチェリー一部員		
射場補助員	金沢大学アーチェリー一部員	北陸大学アーチェリー一部員		

式典次第

【開始式】

期日 平成26年8月23日(土)
 時間 16時00分
 場所 石川県湖南運動公園アーチェリー場

【表彰式・閉会式】

期日 平成26年8月24日(日)
 時間 13時00分
 場所 石川県湖南運動公園アーチェリー場

	次	第
1	役員選手団	整列
2	会式	通告
3	競技会	開始宣言
4	競技会	会長挨拶
5	歓迎	のことば
6	祝	辞
7	競技上	の注意
8	選手	宣誓
9	閉式	通告
10	役員選手団	解散

	次	第
1	役員選手団	整列
2	開式	通告
3	成績	発表
4	表彰	状授与
5	閉会	のあいさつ
6	競技会	終了宣言
7	閉式	通告
8	役員選手団	解散

諸会議日程

会議名	期日	時間	場所	電話番号
監督 審判会議	8月23日(土)	15時00分～ 15時30分	石川県湖南運動公園 アーチェリー場	076-258-5761

競技日程

受付・用具検査及び公式練習

日時：平成26年8月23日(土) 13時00分 ～ 15時30分

場所：石川県湖南運動公園アーチェリー場

競技

日時：平成26年8月24日(日) 9時45分 ～ 12時00分

場所：石川県湖南運動公園アーチェリー場

日程

9:00 ～ 9:30 フリープラクティス

9:45 ～ 10:45 70m 1回目

11:00 ～ 12:00 70m 2回目

13:00 ～ 13:30 成績発表・表彰式

競技上の規定及び試合方法

(1) 競技上の規定

ア (公社)全日本アーチェリー連盟競技規則「アウトドアアーチェリー」により実施する。

イ 競技はアウトドアアーチェリー・リカーブ部門70mとし、各種別の同一選手をもって行う。

ウ 参加資格に不備や虚偽の者が出場した場合には、そのチームを大会から除外して行う。

(2) 競技方法

ア 1標的3名の行射で1立制とする。

イ フリープラクティスは競技開始前に行う。(30分以内、1立4分間を繰り返す。)

ウ 得点の記録は相互かんの的とする。(その矢を所有する選手が呼称し、それにしたがって選手同士が記入し、同的全ての選手が確認する。)

エ 競技進行は、視覚信号機と聴覚信号ブザーの時間管理装置を併用して行う。

立 順 ・ 競 技 成 績 表

少年女子立順表

的	競技者番号	選手名	所 属	70m-1	70m-2	合計	順位
1	1-A	高山 千里	石川県				
	1-B	坂東 三緒	富山県				
	1-C	中村 愛実	長野県				
2	2-A	山岸 江見	福井県				
	2-B	信田 瑞希	新潟県				
	2-C	田岡 秋実	石川県				
3	3-A	富樫 蘭	富山県				
	3-B	今井 愛美	長野県				
	3-C	横田 祐希美	福井県				
4	4-A	中島 千佳	新潟県				
	4-B	角田 佑紀	石川県				
	4-C	魚津 知里	富山県				
5	5-A	小林 渚彩	長野県				
	5-B	岡井 玲奈	福井県				
	5-C	岡田 茉里香	新潟県				

少年女子成績表

第69回国民体育大会 北信越ブロック代表チーム数 1

順位	県名	合計得点	選手名	得点内容		
				70m-1	70m-2	合計
1						
2						
3						
4						
5						

成年女子立順表

的	競技者番号	選手名	所 属	70m-1	70m-2	合計	順位
6	6-A	佐野 雅恵	新潟県				
	6-B	駒寄 真弓	石川県				
	6-C	寺田 春菜	富山県				
7	7-A	宮原 明日香	長野県				
	7-B	南山 満寿美	福井県				
	7-C	渡辺 丘子	新潟県				
8	8-A	久保 文	石川県				
	8-B	中島 悠	富山県				
	8-C	小池 麻実	長野県				
9	9-A	南 夕佳	福井県				
	9-B	佐藤 薫	新潟県				
	9-C	松本 亜希子	石川県				
10	10-A	浦田 由佳子	富山県				
	10-B	林 美月	長野県				
	10-C	河野 祐奈	福井県				

成年女子成績表

第69回国民体育大会 北信越ブロック代表チーム数 2

順位	県名	合計得点	選手名	得点内容		
				70m-1	70m-2	合計
1						
2						
3						
4						
5						

少年男子立順表

的	競技者番号	選手名	所 属	70m-1	70m-2	合計	順位
11	11-A	増田 椋真	福井県				
	11-B	頓所 祐也	新潟県				
	11-C	北市 宗志	石川県				
12	12-A	稲場 健太	富山県				
	12-B	金子 健紀	長野県				
	12-C	宮本 佳明	福井県				
13	13-A	大島 陸	新潟県				
	13-B	中西 巧	石川県				
	13-C	石間 秀人	富山県				
14	14-A	宮島 健人	長野県				
	14-B	後藤 雅貴	福井県				
	14-C	稲垣 洋介	新潟県				
15	15-A	佐々木 壮順	石川県				
	15-B	藤田 直人	富山県				
	15-C	轟 光	長野県				

少年男子成績表

第69回国民体育大会 北信越ブロック代表チーム数 1

順位	県名	合計得点	選手名	得点内容		
				70m-1	70m-2	合計
1						
2						
3						
4						
5						

成年男子立順表

的	競技者番号	選手名	所 属	70m-1	70m-2	合計	順位
16	16-A	宮原 雅	長野県				
	16-B	佐々木 凌太郎	福井県				
	16-C	高井 武志	新潟県				
17	17-A	表 達也	石川県				
	17-B	加藤 清幸	富山県				
	17-C	石間 貴大	長野県				
18	18-A	佐々木 智雄	福井県				
	18-B	梨本 晃太	新潟県				
	18-C	若松 宏幸	石川県				
19	19-A	有馬 彰宏	富山県				
	19-B	淵田 悠太	長野県				
	19-C	林 大作	福井県				
20	20-A	小林 悠貴	新潟県				
	20-B	三十苺 弘明	石川県				
	20-C	澤田 勇樹	富山県				

成年男子成績表

第69回国民体育大会 北信越ブロック代表チーム数 3

順位	県名	合計得点	選手名	得点内容		
				70m-1	70m-2	合計
1						
2						
3						
4						
5						

監督・選手名簿

県名	監督名	種別	選手名	勤務先・在学名・出身校	生年月日
富山	上田 哲治	成年男子	加藤 清幸	高岡市立成美小学校	1965/3/19
			有馬 彰宏	広島大学	1994/7/27
			澤田 勇樹	愛知工業大学	1996/3/13
			清水 洋平	住化スタイロンポリヤーボネート株式会	1984/2/2
		成年女子	寺田 春菜	黒部市役所	1985/3/26
			中島 悠	株式会社大阪屋シヨップ	1986/11/24
	浦田 由佳子		株式会社YKK	1982/8/18	
	七澤 信	少年男子	吉本 亜紗美	黒部農業協同組合	1989/7/7
			稲場 健太	魚津工業高等学校	1996/10/24
			石間 秀人	魚津工業高等学校	1997/2/8
			藤田 直人	魚津工業高等学校	1998/3/19
		少年女子	清水 惇	泊高等学校	1997/12/12
			坂東 三緒	泊高等学校	1996/12/5
			富樫 蘭	泊高等学校	1997/5/17
魚津 知里			泊高等学校	1998/1/20	
		渡邊 美久	富山中部高等学校	1997/8/6	
長野	村上 正之	成年男子	宮原 雅	安井インターテック株式会社	1984/6/13
			石間 貴大	信州大学	1993/11/5
			淵田 悠太	愛知学院大学	1994/6/6
			柳澤 直杜	拓殖大学	1994/10/31
	成年女子	宮原 明日香	今井書店	1989/1/21	
		小池 麻実	株式会社総合キャリアオプション	1989/9/2	
		林 美月	山梨大学	1992/9/22	
	中島 明弘	少年男子	宮尾 名津美	ハイブリッド・ジャパン株式会社	1987/5/8
			金子 健紀	長野県上田東高等学校	1997/1/5
			宮島 健人	長野県上田東高等学校	1996/8/30
			轟 光	上田西高等学校	1996/10/25
			坪井 準	長野県上田東高等学校	1996/12/4
	少年女子	中村 愛実	長野県篠ノ井高等学校	1996/5/20	
		今井 愛美	上田西高等学校	1996/12/17	
小林 渚彩		長野県上田染谷丘高等学校	1997/7/29		
山本 明夢		長野県篠ノ井高等学校	1997/6/27		
福井	酒井 康広	成年男子	佐々木 凌太郎	東海大学	1993/8/13
			佐々木 智雄	サスパック商事 有限会社	1976/3/10
			林 大作	あわら市役所	1993/8/18
		成年女子	南山 満寿美	倉敷芸術科学大学	1992/11/16
			南 夕佳	株式会社 創快	1993/2/22
			河野 祐奈	サカイオーベックス株式会社	1994/7/25
	土橋 真	少年男子	増田 椋真	福井県立金津高等学校	1995/8/12
			宮本 佳明	北陸高等学校	1997/2/19
			後藤 雅貴	福井県立高志高等学校	1996/6/13
	少年女子	山岸 江見	福井県立丹南高等学校	1995/8/20	
		横田 祐希美	福井県立金津高等学校	1995/8/31	
		岡井 玲奈	福井県立丹南高等学校	1997/1/12	

※選手の4人目は、予備登録選手

県名	監督名	種別	選手名	勤務先・在学学校名・出身校	生年月日
新潟	佐藤 百合子	成年男子	高井 武志	吉田高等学校(教)	1977/2/8
			梨本 晃太	(株) ハードオフコーポレーション	1987/6/14
			小林 悠貴	拓殖大学	1993/11/19
			綿引 翔	(株) ハードオフコーポレーション	1989/1/14
		成年女子	佐野 雅恵	吉田高等学校(教)	1989/9/13
			渡辺 丘子	(株) ヨネックス	1991/5/18
	佐藤 薫		新潟市役所	1966/4/20	
	鷹野 志保	少年男子	柿蔭 ゆりえ	梅花女子大学	1995/7/6
			頓所 祐也	吉田高等学校	1997/3/7
			大島 陸	長岡工業高等学校	1996/9/13
		少年女子	稲垣 洋介	敬和学園高等学校	1997/5/4
			佐藤 広和	吉田高等学校	1998/6/22
			信田 瑞希	吉田高等学校	1996/11/14
			中島 千佳	吉田高等学校	1997/1/7
			岡田 茉里香	吉田高等学校	1996/6/10
長澤 佑美			吉田高等学校	1996/12/27	
石川	山首 一恵	成年男子	表 達也	船本工務店	1985/9/7
			若松 宏幸	北陸大学	1990/2/5
			三十苺 弘明	石川県立金沢向陽高等学校	1996/2/18
			山口 良幸	勝美建材運輸	1976/11/12
		成年女子	駒寄 真弓	能登町立柳田小学校(職)	1986/4/7
			久保 文	グリター企画	1978/7/31
	松本 亜希子		カジレーネ株式会社	1996/2/12	
	深見 宣夫	少年男子	北市 宗志	石川県立金沢向陽高等学校	1996/4/16
			中西 巧	石川県立金沢向陽高等学校	1997/11/10
			佐々木 壮順	石川県立金沢向陽高等学校	1997/2/25
			堀内 笙太	石川県立能登高等学校	1998/2/6
		少年女子	高山 千里	石川県立能登高等学校	1997/1/2
	田岡 秋実		石川県立能登高等学校	1996/11/17	
	角田 佑紀		石川県立能登高等学校	1997/2/6	
	宮下 涼奈		石川県立能登高等学校	1997/7/9	

※選手の4人目は、予備登録選手

アーチェリー競技の見方

競技の種類

アーチェリーは、標的の大きさ、射距離や標的位置の違い、弓矢の特性などによって、アウトドア・インドア・フィールド・ラン・クラウト・フライト・3D・パラ・スキーの9種目に競技内容が分けられる。

オリンピックの正式種目になっているのは、アウトドア種目である。

国民体育大会でもアウトドア種目を実施し、男女とも70mの距離から36射を2回、合計72射で予選を行い、上位選手で決勝トーナメントを行う。

的と弓の特性

的の大きさは、直径122cmのものを用いる。得点帯は、外側（白地）1点から中心（黄色）10点までの10の同心円に区分されている。従って、中心に近いところに矢が刺さるほど得点は高くなる。

また、的の中心は地上から130cmの高さ、かつ、約15度の傾斜角度をもつように設定されている。

アーチェリーの弓は金属（主にアルミニウム）でできたハンドルと、カーボンやグラスファイバーの合板でできたリムを組み合わせた物が現在の主流で、反発力が非常に優れ、威力も強い。また、弓に付属のサイトやスタビライザーなどの用具によりの精度も驚くほど高くなっている。

競技の進行

選手は3人で的に向かい、4分で6射しなければならない。行射時間はカウントダウン方式で表示され、射ち残した矢があれば0点となる。選手は6射ごとに標的前に行き得点を記録し、矢を抜いて次の行射を行う。得点は6射ごとに集計され、個人の得点及び団体の合計得点が速報として掲示される。

採点と勝敗

それぞれの的の選手全員で採点を行う。選手は自分の矢の得点を読み上げ、同じ他の選手が確認し記録紙に記入する。疑義のある場合は審判員が判定を行う。

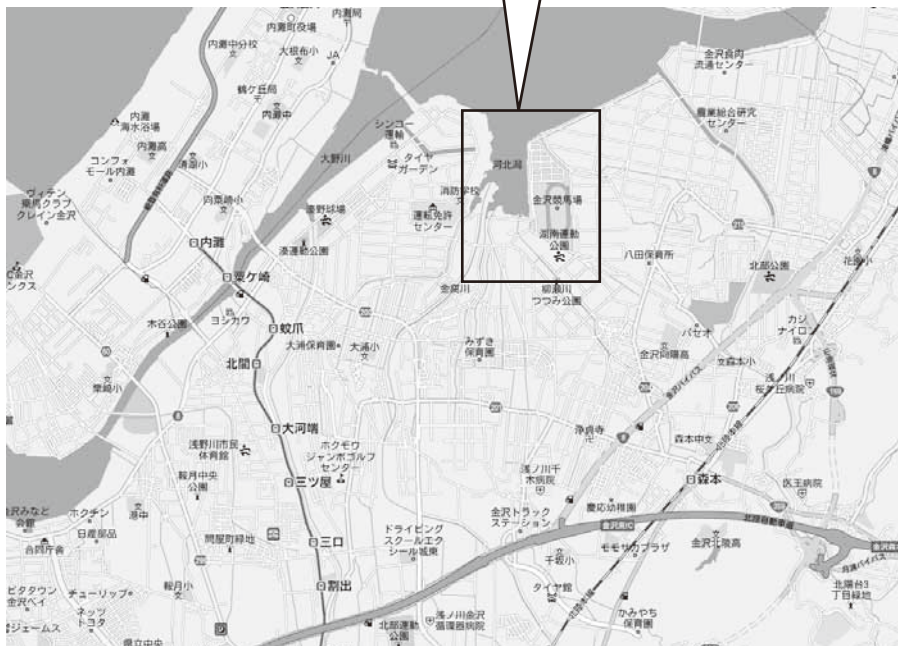
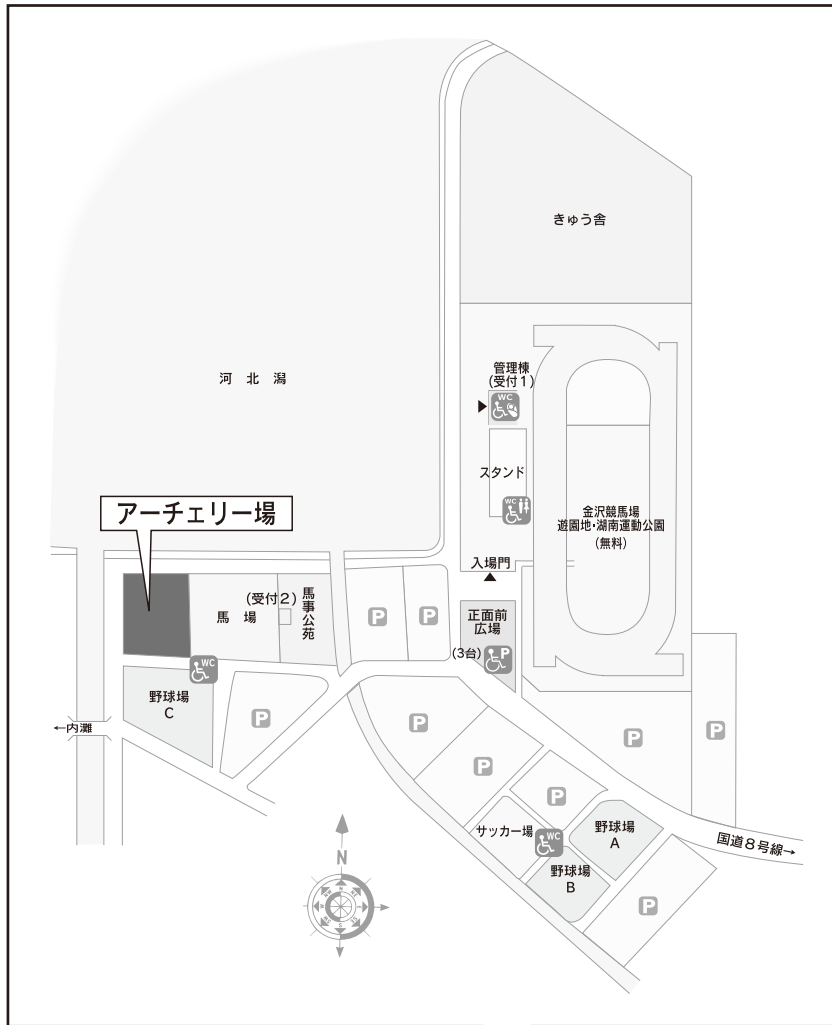
得点は、種別、個人別に集計され、合計得点の上位から順位が決定する。団体は、種別ごとに各県3名の選手の得点の合計で順位が決定する。

得点が同点の場合は10点数の多い方で判定し、それでも同じ場合はX(10点のより中心に近い得点帯)の数で順位を決める。

前 回 ま で の 成 績

回数	開催県	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	国体開催県
1	富山県		新潟県	福井県	長野県	栃木県
2	長野県		新潟県	福井県	長野県	滋賀県
3	福井県		新潟県	福井県	福井県	島根県
4	新潟県		長野県	福井県	福井県	群馬県
5	石川県		新潟県	福井県	福井県	奈良県
6	富山県		新潟県	福井県	福井県	鳥取県
7	長野県		新潟県	福井県	福井県	山梨県
8	福井県		新潟県	新潟県	福井県	沖縄県
9	新潟県		福井県	福井県	福井県	京都府
10	石川県	石川県		福井県	福井県	北海道
11	富山県	新潟県	新潟県		福井県	福岡県
12	長野県	新潟県	新潟県	新潟県		石川県
13	福井県		石川県	石川県	石川県	山形県
14	新潟県	新潟県		石川県	福井県	香川県
15	石川県	石川県	石川県		石川県	愛知県
16	富山県	新潟県	新潟県	福井県		福島県
17	長野県		石川県	長野県	石川県	広島県
18	福井県	富山県		石川県	富山県	大阪府
19	新潟県	富山県	石川県		富山県	神奈川県
20	石川県	富山県	石川県	富山県		熊本県
21	長野県	新潟県 長野県	新潟県 石川県	石川県	石川県	富山県
22	富山県	富山県 長野県	石川県 富山県	富山県	富山県	宮城県
23	福井県	長野県 富山県	石川県 富山県	長野県	富山県	高知県
24	新潟県	富山県 長野県	富山県 長野県	富山県	富山県	静岡県
25	石川県	長野県 富山県	富山県 石川県	富山県	富山県	埼玉県
26	富山県	長野県 富山県	富山県 福井県	長野県	富山県	岡山県
27	長野県	長野県 新潟県	富山県 長野県	長野県	富山県	兵庫県
28	福井県	長野県 新潟県	富山県 長野県	富山県	新潟県	秋田県
29	新潟県	富山県 長野県 石川県	富山県 長野県	石川県	長野県	大分県
30	石川県	長野県	富山県 長野県	石川県	長野県	新潟県
31	富山県	長野県 新潟県 富山県	石川県 長野県	石川県	富山県	千葉県
32	長野県	長野県 新潟県	石川県 富山県 長野県	長野県	長野県	山口県
33	福井県	富山県 長野県 新潟県	富山県 石川県	富山県	長野県	岐阜県
34	新潟県	長野県 新潟県	長野県 富山県 石川県	富山県	石川県	東京都

競技会場案内図



宿 舎 一 覧 表

県 名		宿 舎 名	所 在 地	電話番号	備 考
富山県	成年男子	東横イン金沢駅東口	〒920-0856 金沢市昭和町 13-23	076-224-1045	
	成年女子				
	少年男子				
	少年女子				
長野県	成年男子				
	成年女子				
	少年男子				
	少年女子				
新潟県	成年男子	アパホテル <金沢駅前>	〒920-0031 金沢市広岡 1-9-28	076-231-8111	
	成年女子				
	少年男子				
	少年女子				
福井県	成年男子	ANA ホリデイ・イン 金沢スカイ	〒920-0855 金沢市武蔵町 15-1	076-233-2233	
	成年女子				
	少年男子				
	少年女子				

救 急 指 定 病 院

石川県立中央病院

〒920-8530 金沢市鞍月東2丁目1番地
TEL 076-237-8211

金沢医科大学病院

〒920-0293 河北郡内灘町大学1丁目1番地
TEL 076-286-3511

競 技 会 本 部

石川県湖南運動公園アーチェリー場

〒920-3105 金沢市八田町西1
TEL 76-258-5761

大 会 本 部

第35回北信越国民体育大会実行委員会事務局

金沢市稚日野町北 222 番地
公益財団法人石川県体育協会内
TEL 076-268-3100
FAX 076-268-3188

無限の夢へ、走りだそう。



RING!RING! プロジェクト

競輪の補助事業

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで

RING!RING!

検索

